

P-055 不眠を訴える患者に対して 消導薬を使用して効果を得た1症例

○小川 純^{1,2}、酒井駿太郎²、田中雅佳子²、川口 智子²、小川 光^{1,2}
1あがわ薬局、2あゆみ薬局

背景・目的

不眠を訴える患者の場合、一般的に医療機関では睡眠導入剤が処方され、薬局及びドラッグストアにおいては一時的なものを対象に睡眠改善薬が販売される。また、医療機関、薬局、ドラッグストアにおいて漢方薬が利用されるケースもしばしば見受けられる。今回は西洋薬や漢方薬ではなく、消導薬として使用されることの多いハーブが配合された健康食品(以下「焦三仙」とする)を用いて睡眠の改善に至った症例を報告する。

概要

患者情報

【主訴】 冷え、下半身の痺れ、乾燥肌
疲労感、眠りが浅い
【性別】 女性 【年齢】 68歳
【身長】 158cm 【体重】 68kg
【職業】 無職
【既往歴】 白血病、脳梗塞、乳がん
【嗜好品】 甘いもの、マクドナルド

消導薬の構成

山楂子

性味：甘/微温
効能：消化化積、活血散瘀
胃液の中のアミラーゼ、脂肪分解酵素を増やし肉類などの消化を助ける

麦芽

性味：甘/平
効能：健脾開胃、行気消食、舒肝
アミラーゼなどにより、小麦粉でできたものの消化を助ける

神曲

性味：甘/温
効能：消食和胃
プロテアーゼやアミラーゼにより米でできたものの消化を助ける

結果・考察

本症例は高脂肪・高糖質食の嗜好により脾胃の運化失調を生じ、食積停滞から胃不和・心神不安を招き不眠に至ったと考えられる。焦三仙は消化化積・健脾和胃に優れ、特に肉類・甘味による食積を消する作用を有する。本方の投与により食積が取り除かれた結果、心神安定し不眠が改善したと示唆される。

結論

睡眠導入剤や睡眠改善薬、一般用医薬品に分類され不眠症が効能効果として認められ、方薬を使用するだけでなく、中医学理論に基づいて正しく証を判別することにより、方において消化を助け、気のめぐりを改善すると考えた焦三仙を用いることで胃腸の持し、中医学でいうところの食積を解消しそれに伴う睡眠の状態の変化を示唆された。第58回日本漢方学会学術大会 利益相反の開示 利益相反はありませんが、私は今回の演題に関連して、開示すべき利益相反はありません。

経過

初回相談：6月
歩行補助器具としてシルバーカーを押して来局。冷えや脳梗塞後の下半身の痺れ、乾燥肌など悩みが多かったが1番の主訴は冷え。
【辨证】 腎陽不足・気血両虚
【治則】 温補腎陽・益気養血
【処方】 参茸補血丸※、独活寄生湯

2回目相談：7月
初回相談時から1ヶ月経過後、冷えについては改善の傾向が見られ以降月に初回処方の服用を継続。

8回目相談：11月
風邪症状で相談あり。その際に胃もたれの症状があったため焦三仙を3日間併用した。下痢や便秘の症状はなし。食事量も増えた感じがする。
【辨证】 胃気不和
【治則】 和胃化滯
【処方】 焦三仙

11回目相談：12月
「お腹が弱っている」とのこと。食欲はあるが少し食べ過ぎた感じが現れるとのこと。以前は焦三仙が良かったため併用した。

12回目相談：1月
前相談時から1ヶ月後「併用することで胃もたれはなくなり不眠を感じることもなくなり朝起きて活動できる日が増えた。焦三仙の併用を継続し、睡眠が改善した。」

P-054

P-054

ダイオウが配合されている医療用漢方エキス剤中のセンシトA、B量の定量
○山田弘志¹、井口巴樹²、渡邊孝²
(1)東京医科大学薬学部、(2)東京医科大学付属病院

ダイオウは、主たる地下部分としてアナンツロンを含有するセンシトA、Bは、それぞれ異なる作用を有する。センシトAは、主に腸管運動を促進する作用を有し、センシトBは、主に鎮痛作用を有する。本報告では、センシトA、Bの定量法について報告する。

P-053

漢方薬による後遺漏の治癒で、
長年苦しんだ喘息まで改善した症例の報告
○高橋 久子



「喘息」は「気管支炎」といいますが、喘息は、気管支の炎症によって起こる病気です。喘息は、長年苦しむ病気ですが、漢方薬によって治癒することがあります。本報告では、漢方薬による喘息の治癒について報告します。